



読書は生涯の資産

校長 赤松 弘一



中学校で朝読書が始まってから、もう何年になるのでしょうか。明石市は子どもの読書活動の推進を掲げて、様々な取り組みの他、市民図書館の充実や学校図書室への司書の配置を進めています。



7月13日中庭に来たタマムシ

皆さんはかなりの時間をスマートフォンやPC画面を眺めることに使っていませんか。様々な情報が面白おかしくUPされていて、つい見過ぎてしまうのでしょうか。

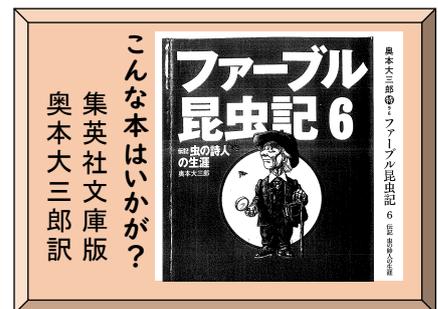
夏休みの自由になる時間をネットに占領されることなく、読書に向けてほしいと思います。私が読書の面白さを知ったのは中学1年生の時でした。夏目漱石の「坊ちゃん」を読んで読書の面白さを知りました。また、その時は厚みのある小説を初めて読み切ったことで大きな達成感を感じました。

小説「坊ちゃん」には明治のころの日本の様子や人々の暮らしが鮮やかに記されています。昔の人も今と同じように腹を立てたり皮肉を言ったりしていて、それも興味深かったです。夏目漱石が日本語の表現に革新をもたらしたといわれています。

本を読むことで、思考の幅が広がり深まります。読める漢字や使える言葉が増えます。その結果、表現力が増し、わかりやすい文章が書けるようになります。また他の人と本を通じて意見を交換したり、共感したりできます。

フィクションであれ、ノンフィクションであれ、古典であれ、図鑑であれ、知らないことを知り、想像を膨らませるのは楽しいです。そして読書に費やした時間はしっかり手応えとなって残ります。スマホの画面を見ることに長い時間を費やした後、疲労感しか残らないのでは虚しいですね。

1冊の本が生き方を変えてしまうこともあります。夏休みは静かで熱い「本との対話」を楽しんでください。素晴らしい本に出会えることを祈っています。



保護者の皆様、今日で1学期が終わり、約1か月間の夏休みとなります。今学期も何かと本校の教育活動にご協力をいただきまして感謝申し上げます。2学期は体育大会、文化祭を中心に、皆様に子どもたちの活動をご覧いただく機会を計画しております。しかしながらここへきて新型コロナの感染状況が再び急激に拡大しております。夏休み期間中も部活動等では感染防止に努めてまいります。ご家庭におかれましても基本的な感染対策（マスク、手洗い、うがい、換気）をよろしく願います。また、感染や濃厚接触が分かりました際は学校へ連絡してください。

なお、今月初めにお知らせしましたように、学校は8月10日(水)から15日(月)までを閉庁期間としています。緊急の問い合わせや事故等の連絡につきましては、明石市教育委員会学校教育課（Tel.078-918-5055）へ願います。